

令和4年度文化庁委託事業

「消滅の危機にある方言の記録作成および啓発事業」

◆シンポジウム

# 「シマクトゥバの持続的な 継承活動を実現するために」

令和5年  
3月4日(土)

14:00～16:00

沖縄県立武道館 研修室  
(那覇市奥武山町52番地)

■会場：定員50名、WEB：定員50名

※隣接する沖縄セルラースタジアムにおけるプロ野球キャンプの影響で第1駐車場、第2駐車場とも混雑が予想されますので、時間に余裕をもってお越しください。

パネリスト

石原 昌英 氏

(琉球大学 国際地域創造学部)

「芸能とシマクトゥバ継承ー唄三線・琉舞・しまくとぅば劇の可能性ー」

下地 賀代子 氏

(沖縄国際大学 総合文化学部)

「コミュニティ参加型の地域言語学習コンテンツ」

狩俣 繁久 氏

(琉球大学 戦略的研究プロジェクトセンター)

「持続可能なシマクトゥバの継承活動とは  
いかなるものであるか」

司会

當山 奈那 氏

(琉球大学 人文社会学部)

最近のマスコミをみると、シマクトゥバ（各地の方言）を巡る状況が少しずつ好転し、深刻な危機を脱しつつあるかのように見える。しかし実際にはシマクトゥバを取り巻く社会的な状況、文化的な状況は、いよいよ厳しさを増してきて、地域のシマクトゥバは、大きな岐路に立っている。そうしたなか、シマクトゥバの母語話者が減っていくことに対する危機感から各地域のシマクトゥバを後世に伝えていくためにさまざまな取り組みがなされている。本シンポジウムでは、母語話者が減少する現状を踏まえ、持続可能なシマクトゥバの継承活動はどのようなものか、意見交換を行い、今後の継承活動を考える。

## 申込み

【3月2日（木）締切】

会場参加、オンライン参加ともお申し込みが必要です。下記のサイトまたはQRコードよりお申込みください。

<https://forms.gle/yVhRNnoxXjj5K18c9>

参加無料



会場参加の方は、当日参加も可能です。会場に直接お越し下さい。（感染対策のため、なるべく事前にお申込みいただきますようお願いいたします。）